

びいぶる

- P.2～3…………… 9月定例会、議案審議、議案審議に対する各議員の態度
- P.4～5…………… 平成26年度決算審査、決算審査に対する各議員の態度
- P.5～6…………… 陳情・意見案、陳情・意見案に対する各議員の態度
- P.6～10…………… 市政のここが聞きたい「一般質問」
- P.10～11…………… 各常任委員会「行政視察」報告
- P.12…………… 議会報告会開催案内、12月定例会、表紙の説明、編集後記



9月6日 防災訓練の一コマ

平成27年9月高浜市議会定例会が、9月1日から9月29日までの29日間の会期で開かれました。主な議案等は次のとおりです。

なお、議案等の件名は、3ページの「議案審議に対する各議員の態度」の件名欄をご参照ください。

同意

【同意第6号】

教育委員会委員神谷次男氏の後任として、新たに磯貝毅氏を任命するもの。

条例等

【議案第52号】

持続可能な財政運営のもと、市民の財産である「公共施設」をより良いかたちで次世代に引き継ぐため、市及び議会の役割等を明らかにするとともに、「公共施設マネジメント」に関する基本的事項を定めるほか、公共施設マネジメントに関する提言等を行う有識者委員会を設置するもの。

【議案第53号】

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等

に関する法律の施行により、「個人番号通知カード」の交付開始等に伴い、再交付手数料等を定めるもの。

【議案第54号】

開発行為により設置された道路の市への帰属に伴い、市道路線として「6路線」の認定を行うもの。

【議案第55号】

平成26年度高浜市水道事業会計の「利益剰余金」の処分について、議会の議決を求めるもの。

【議案第56号】

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行により、「特定個人情報」の保護等に関し、必要な事項を定めるとともに、所要の規定の整備を行うもの。

【議案第57号】

被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行により、「共済年金」が「厚生年金」に統一されることに伴う所要の規定の整備を行うもの。

【議案第58号】

「旧高浜市立吉浜保育園」及び「旧高浜市吉浜児童センター」の建物及び建物に附帯する設備を「社会福祉法人知多学園」に無償譲渡するもの。

補正予算

【議案第59号】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億7,029万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ144億2,574万8千円とするもの。

主な内容は、次のとおり。

- ・議案第52号に関連し、公共施設あり方計画を推進するための公共施設マネジメントアドバイザー及び公共施設マネジメント推進委員会委員謝礼の計上。
- ・新庁舎への移転に向けて業務改善を推進するための保管文書電子化業務の委託。
- ・町内会集会所の改修に対する補助金の交付。
- ・町内会が実施する防災用倉庫設置に対する補助金の交付。
- ・認知症の早期発見を推進するための認知機能健診の受診勧奨の実施。
- ・高浜港駅改良工事（瓦関連工事）に対する公共建築物等三州瓦屋根工事奨励補助金の交付。
- ・道路の側溝清掃・アスファルト舗装修繕等小規模修繕工事の実施。

【議案第60号】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,767万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ41億699万2千円とするもの。

主な内容は、次のとおり。

- ・生活習慣病に関する検査値が「受診勧奨値」を超えているものの、医療機関を受診していない人等に受診を勧める国保ヘルスアップ事業の実施。

【議案第61号】

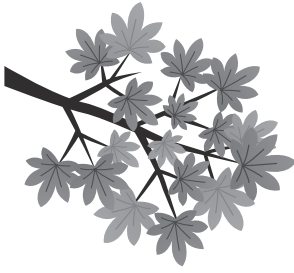
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,333万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9,616万5千円とするもの。

主な内容は、前年度繰越金の額の確定に伴う調整を行うもの。

【議案第62号】

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ718万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ14億3,435万3千円とするもの。

主な内容は、前年度繰越金の額の確定に伴う調整を行うほか、下水道施設の現況調査検討業務を委託するもの。



【議案第63号】 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,983万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ8,300万5千円とするもの。
 主な内容は、前年度繰越金の額の確定に伴う調整を行うもの。

【議案第64号】 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,389万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ25億2,757万5千円とするもの。
 主な内容は、前年度繰越金の額の確定に伴う調整を行うもの。

【議案第65号】 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ156万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億6,021万8千円とするもの。
 主な内容は、前年度繰越金の額の確定に伴う調整を行うほか、後期高齢者医療広域連合納付金の増額等を行うもの。

議案等に対する各議員の態度		各派名	市政クラブ											公明党	共産党	市民クラブ	開拓志	大家族はまろう
種類/番号	件名	議員氏名	鈴木勝彦	北川広人	杉浦敏和	杉浦辰夫	柴田耕一	浅岡保夫	柳沢英希	神谷利盛	杉浦康憲	小野田紀子	小嶋克文	内藤とし子	黒川美克	長谷川広昌	神谷直子	
			※同=同意 議=議案															
9月定例会			結果	○=賛成・同意 ●=反対・不同意														
同第6号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	高浜市公共施設マネジメント基本条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議第53号	高浜市使用料及び手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第54号	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第55号	平成26年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第56号	高浜市個人情報保護条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第57号	高浜市職員の再任用に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第58号	財産の無償譲渡について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第59号	平成27年度高浜市一般会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第60号	平成27年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第61号	平成27年度高浜市土地取得費特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第62号	平成27年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第63号	平成27年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	平成27年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第2回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第65号	平成27年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※幸前信雄議員は議長職のため、表決権はありません。

決算審査

9月定例会において決算特別委員会を設置し、9月9日から9月10日までの2日間にわたり、決算認定審査を行いました。

なお、5ページに「決算審査に対する各議員の態度」に、決算認定内容を掲載していますので、ご参照ください。

◇総括

平成26年度の一般及び特別会計の決算総額は、歳入が227億435万4,704円で前年度比4.7%の増、歳出は214億3,783万7,377円で前年度比5.3%の増となり、歳入歳出とも増加しています。

◇一般会計

一般会計の歳入は146億4,117万145円で前年度比4.9%の増、歳出は136億7,438万3,971円で前年度比4.8%の増となっています。歳入の財源別内訳では、自主財源が105億9,349万7,556円で自主財源比率は前年度比0.1%減の72.4%、依存財源は40億4,767万2,589円で依存財源比率は前年度比0.1%の増となっています。

一方歳出の性質別内訳では、

義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は62億6,343万5,616円で前年度比0.6%の増、投資的経費は4億6,560万2,819円で前年度比19.2%の減となっています。その他の経費は、69億4,534万5,536円で前年度比11.2%の増となっています。財政力指数（単年度）については、0.98で前年度と同じで、引き続き普通交付税の交付団体となっています。

◇特別会計

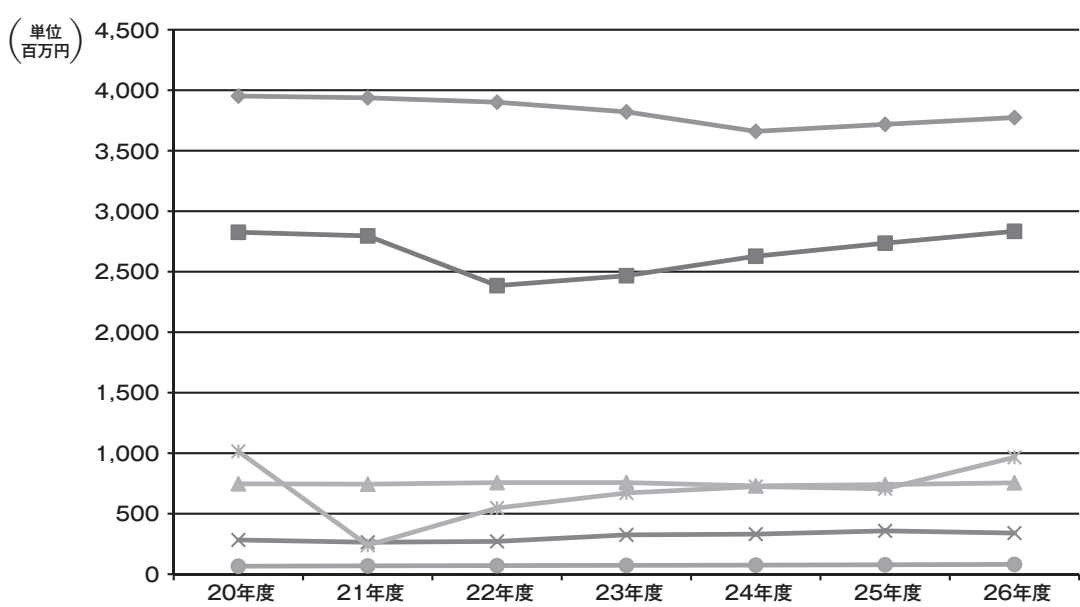
特別会計の歳入は80億6,318万4,559円で前年度比4.3%の増、歳出は77億6,345万3,406円で前年度比6.3%の増となっています。

◇公営企業会計（水道事業）

経営状況では水道事業収益は、8億6,005万2,451円で前年度比8.5%の増、水道事業費用は7億3,220万2,367円で前年度比3.4%の増となり、収支差し引き1億2,785万84円の純利益を計上しています。（決算額は消費税を含んだ額です。）

給水人口、給水栓数は増加しましたが、天候不順や大口使用者の撤退で給水収益は減少しました。し

市税の内訳と推移



かし、経営改善等により、決算状況は良好な状態が保たれていると言え、市民生活の基盤である飲料水の安定的な供給に努めています。

税目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
固定資産税◆	3,952	3,937	3,901	3,821	3,660	3,718	3,774
個人市民税■	2,826	2,796	2,385	2,467	2,628	2,736	2,834
都市計画税▲	747	744	757	757	730	741	755
市たばこ税×	283	264	271	325	331	358	340
法人市民税*	1,015	239	547	671	724	706	966
軽自動車税●	66	69	71	73	75	78	81
合計	8,889	8,049	7,932	8,114	8,148	8,337	8,750

出典：高浜市が作成した、各年度の「主要成果説明書」

議案等に対する各議員の態度		各派名	市政クラブ										公明党	共産党	市民クラブ	開拓志	大塚はまろう			
種類／番号	※認=認定		議員氏名	鈴木勝彦	北川広人	杉浦敏和	杉浦辰夫	柴田耕一	浅岡保夫	柳沢英希	神谷利盛	杉浦康憲	小野田由紀子	小嶋克文	内藤とし子	黒川美克	長谷川広昌	神谷直子		
	件	名		○=賛成 ●=反対																
9月定例会			結果	○=賛成 ●=反対																
認第1号	平成26年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第2号	平成26年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第3号	平成26年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第4号	平成26年度高浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第5号	平成26年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第6号	平成26年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第7号	平成26年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認第8号	平成26年度高浜市水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※幸前信雄議員は議長職のため、表決権はありません。

陳情・意見案

陳情・意見案の結果は、6ページの「陳情・意見案に対する各議員の態度」をご参照ください。

陳情

9月定例会に陳情6件が提出され、福祉文教委員会に付託・審議され、本会議において採決されました。

■陳情第3号

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情

【賛成意見】

・いじめ等の問題が出た時、その対応を考えると、少人数学級は有効だと思ひ、賛成。
・いじめや不登校、非行問題などさまざまな問題が山積しており、一人一人に應じたきめ細かい支援を行うためには少人数学級の拡充が必要のため賛成。

■陳情第4号

国民の声に耳を傾けた安全保障関連法（案）の審議を日本政府に求める意見書提出に関する陳情

【賛成意見】

・衆参合わせて200時間以上

の審議をしているが、不十分だという意見が多くある。慎重に丁寧な説明をし続けることが本分であり、賛成。

・憲法第9条の制約を完全に取っ払い、平和国家としての出発点を完全に否定しており賛成。（議員の態度の欄外に注釈あり）

■陳情第5号

国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

【趣旨採択】

・私学は公立に比べて高いのでこの意見には賛成であるが、国の情勢等もあるので趣旨採択。

【賛成意見】

・愛知県では、3人に1人が私学に学び、公共教育の重要な役割を担っており賛成。

■陳情第6号

愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

【趣旨採択】

・私立高校の役割は、公立高校と同じような役割を担っており、一定の支援は必要と考えられるが、県も財政が厳しい状況のため、趣旨採択。

【賛成意見】

・父母負担の公私格差の是正が抜本的な解決には至っていない、公立私立問わず教育の中心で自由に選択することが望ましく賛成。

■陳情第7号

私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情

【反対意見】

・高浜市では、近隣の市より十分に助成されているので反対。

【賛成意見】

・高浜市は助成をしているが、他の自治体では対象者も多く全額出しており賛成。

■陳情第8号

「戦争法案といわれる、安全保障体制の見直しを行わないよう国に求める意見書」の提出を求める陳情

【反対意見】

・先進国の一国である日本がどのようにに国際協力をしていくかも含め、安全保障の体制、法整備はしていかなければならず反対。

【賛成意見】

・多くの憲法学者が違憲との見解。8割の人が今国会で通すことは審議不足であるという世論調査もあり、賛成。

意見案

【意見案第1号】

陳情第3号が採択されたので、意見案の意見書を提出、可決し、内閣総理大臣ほか4大臣へ送付しました。

議案等に対する各議員の態度		各派名	市政クラブ													公明党	共産党	市民クラブ	開拓志	大家たはまろう
種類/番号	※陳=陳情 意=意見案		議員氏名	鈴木勝彦	北川広人	杉浦敏和	杉浦辰夫	柴田耕一	浅岡保夫	柳沢英希	神谷利盛	杉浦康憲	小野田由紀子	小嶋克文	内藤とし子	黒川美克	長谷川広昌	神谷直子		
	件	名	結果	○=賛成 ●=反対 △=趣旨採択																
9月定例会																				
陳第3号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳第4号	国民の声に耳を傾けた安全保障関連法(案)の審議を日本政府に求める意見書提出に関する陳情	不採 択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●		
陳第5号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	趣旨採 択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	○	△		
陳第6号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	趣旨採 択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	○	△		
陳第7号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	不採 択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	△	●		
陳第8号	「戦争法案といわれる、安全保障体制の見直しを行わないよう国に求める意見書」の提出を求める陳情	不採 択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	△	●		
意第1号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
意第2号	安全保障法制の慎重審議を求める意見書	否 決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●		

※幸前信雄議員は議長職のため、表決権はありません。
 ※陳情第4号については、委員会では全員賛成であったが、その後国会で法案が可決・成立したため反対意見に変わった議員もいます。



市政の

ここが聞きたい!!

一 般
質 問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく市政全般について市の方針をただすものです。なお、掲載文は質問議員本人の原稿によるもので、各議員の質問と当局の答弁の要旨は次のとおりです。



神谷 直子 議員

教育基本構想について

問 教育基本構想における高浜カリキュラムについて。

答 高浜の子どもの幼・保・小・中12年間の学びをつなげるための異校種間連携の一つの柱です。ねらいは二つあり、高浜の教育財産である「ひと・もの・こと」を学ぶことと、探求力、表現力、実践力をつけることにあります。これらは、各学年や園で共通のテーマに基づき、総合的な学習の時間で取り組んでいます。

問 高浜カリキュラムにおける、中学生のキャリア教育について。

答 職業の理解を深めながら自己の理想的な生き方を見つけ、その実現に向けて、生涯にわたる努力ができるよう学習内容を組み立てています。キャリア教育というと、職業に特化した学習を指しますが、高浜カリキュラムにおける中学生のキャリア教育では、キャリアを職業や仕事

に限定せず、自分の努力や、体験、知識、技能、考え方を含めています。選択の結果よりも、過程や経験を大切にし、自分と向き合い、理想と現実との差を受け止め、困難に負けずに我慢強さを持ち、リスタートを切る強い意志を身に着けることを大切にしています。実際には一年生で、高浜で働いている方のお話を聞く職業セミナー、二年生で三日間の職業体験、三年生で赤ちゃんふれあい体験や修学旅行先での職場訪問をします。市の防災訓練も、まちづくり協議会と協力して活動しています。

問 今後の展開について。

答 「中学生のキャリア教育は、様々な出来事の背景にある目に見えない価値や意味を真剣に問い掛けながら自分なりにとらえようとする姿に醍醐味があります」という文部科学省の考え方と、高浜カリキュラムにおける中学生のキャリア教育は一致しており、現在の取り組みを継続していき、平成28年度末に中学校三年生までの単元計画を完成させます。そして、生徒の実態と授業の内容や展開がずれていないかを振り返り、より効果的な授業展開を工夫し、行事との連携を図りたいと考えています。



北川 広人 議員

かわら美術館について

問 開館から20年間の総括と7年間の指定管理期間の管理者に対する評価は。

答 かわらのまち高浜のアイデンティティを高め、都市ブランドの形成や市民参加による新たなまちづくりにつながり、「協働のまち高浜」を創り上げる上で、重要な役割を果たした。管理者には、特に広報活動では、フレキシブルさで高浜市のPRに大きく貢献し、専門性を有する施設保守により、中長期整備計画を作成。日常の管理・点検により、維持管理コストの削減を図って頂いた。

問 今年度で指定管理期間が終了するが、今後の方向性は。

答 20年で培った美術館のイメージを残しつつ、美術品鑑賞の場から、市民が主体的に関わり、様々な発信ができる文化交流施設を目指す。現指定管理者との協議を進めている。

地域における医療と介護の連携について

問 刈谷豊田総合病院高浜分院の医療・介護面で期待できる役割は。

答 訪問看護ステーションは、日常生活の看護や医療処置、タミナルケアを担っている訪問回数が月300件に達しようとしている。介護のサービス調整を行うケアマネジメント業務や、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を担って頂けることを期待する。

問 2025年問題を含めて、西三河南部西医療圏には病床二一丁は更に増すと考えるが、分院の建替えの今後の展開は。

答 医療法人豊田会は、ベッドを増やすことも考えている。中央公民館の機能移転が予定される中、市の中心地であり、利便性も高く、分院の移転候補地として最適であると考える。将来のこの医療圏域の病床状況を考えると、病院が無くなれば、医療と介護の連携も取りにくくなる。どのようにして病院を残すのか、自立した病院になって頂くことを願いながら、説明会等で市民の皆さんにご理解を頂きながら、進めていきたい。



黒川 美克 議員

学校施設の老朽化について

問 各学校施設の老朽化の現状について。

答 高浜市は、築年数30年を超えた校舎等は、翼小学校を除く小中学校全てという現状です。高浜小学校は建築後56年、高取小学校は50年を迎えている校舎を有している状況です。充実した教育活動を推進するには、安全性、防災性、防犯性に配慮した安全・安心な施設であることが求められます。また、学校施設は、災害時には、緊急避難場所として活用される重要な役割も担っています。こうした安全で、安心できる施設とするため、本市では、これまで、限られた自主財源の中で、着実に耐震化の向上に努めてきました。特に耐震補強工事は、全ての小中学校で完了しています。

問 各学校施設の保守・修繕の考え方について。

答 学校の保守は、学校現場で

は校務主任が担当しており、学校経営グループ職員が随時学校をまわっています。また、年2回、各校の校務主任が集まる校務主任者会議を開催しています。現在の最優先課題は、屋内運動場の非構造部材の落下防止対策であり、国庫補助も申請しているものの、一般財源から十分な額の支出が必要となっています。また、「高浜市公共施設あり方計画(案)」の「公共施設あり方計画推進プラン」では、大規模改修の時期を示すとともに、現地調査の結果、劣化の著しい施設の緊急修繕の時期も示されています。このプランに基づいて、必要な予算を計上したいと考えています。

問 今後の学校施設の保全計画について。

答 議員のご質問にありました学校施設の保全の手引きを作成するとともに、中期にわたる保全計画を策定するといったことが、この保全編において考え方が明記してあるものと理解しています。

今後学校施設を核として機能の複合化を図るといことは、核となる学校施設を適切に維持管理していく必要性を踏まえ、現在策定作業中の公共施設総合管理計画で明記します。



小野田 由紀子 議員

生活困窮者自立支援制度について

問 生活困窮者自立支援制度の事業の進捗状況と今後の取り組み。また、行政や地域住民、ボランティアと地域福祉コーディネーターが連携して取り組む仕組みづくりについて。

答 自立相談支援事業は、累計で30件。生活に不安や心配のある方の課題の解決に向けた支援を行った。家計相談支援事業は、2名に家計相談員による専門的な支援を行い、2名の就労支援では、1名の就職が6月に決定するなど一定の成果を上げている。7月から、中学生を対象に学習支援を実施し夏休み期間中、週3日、宿題やテスト対策講座や昼食づくり、ワークショップなどをを行い、子どもたちの社会性や価値観の視野の広がりにつながることを期待しています。また、この制度を適用していくには、民生・児童委員や地域の

方々、関係機関の方々にご協力いただき、地域福祉コーディネーター等の「つなぎ役」がキーパーソンとなり、地域で一体となって支援に取り組むことが非常に重要であると認識しています。ご提案いただいた豊中市の取り組みも参考にし、検討してまいります。

人と動物が共に幸せに暮らすまちの実現について

問 人と動物が共に幸せに暮らすまちの実現についての広報・啓発について。

答 愛知県が進めている動物の譲渡などの取り組みの周知や、動物を捨てることは犯罪であることなど、動物保護管理センターと連携しながら、広報・啓発活動の強化に努めてまいります。
問 災害時の動物救護マニュアルと取り組みについて。

答 東日本大震災での避難所運営の教訓を生かした「高浜市避難所運営マニュアル」を平成26年6月に策定し、「ペットの扱いについても記載しており、町内会、まちづくり協議会、小中学校に配布。昨年モデル地区として、吉浜小学校区での訓練で、実際に犬を連れて実施しました。



神谷 利盛 議員

第六次高浜市総合計画
[2011～2016] (H25)

問 地域活性化を目的に観光事業に力を入れていくとのことだが、対象が高浜市民約4万6千人となっている。本来なら市外から多くの観光客を集め、高浜市にお金を落としてもらおう仕組みを作るべきでは。

答 まず、高浜市民への観光事業のPRを優先している。今後は市外から、より多くの観光客を呼びこめるよう、アクションプランに反映させていく。

問 地場産振興事業のうち、三州瓦屋根工事奨励補助金に毎年相当額の補助金を出しているが、いつから、いくら出し、その効果をどのように把握しているのか。また、いつまで続けるのか。

答 平成8年度から年平均1千7百万円。別に、展示会・開発支援に年4百万円ほど出している。効果は、全国シェアを指標としており、平成25年度では、

うわ葉瓦で72・2%。いぶし瓦で41・99%。出荷枚数は、過去5年平均で68%の支援効果があったと判断している。三州瓦業界は、高浜市の地場産業であり、当面は、いつまで継続するかの議論に入るべきでないと判断している。しかし、支援と効果はきちんと把握し、必要に応じた見直しを図っていく。

「アシタのたかはま研究所」
について

問 設置の背景・目的・体制は。

答 自治体に潜在する中長期的・分野横断的な課題に対し、集中的に調査研究する機関で、副市長が責任者になっている。

問 「NEXTたかはま」では、25年後には896の自治体が削減するとあるが、高浜市も含まれるのか。

答 今は含まれないが、今後含まれることの無いよう調査・研究を行っていく。

問 ICT化がさらに進んでいくが、市職員の数はそれ相応に減らしていくのか。

答 退職補充者との均衡を勘案し、採用人数を判断していく。



柴田 耕一 議員

交通安全対策について

問 交通事故の現状と安全対策について。

答 愛知県の交通事故死亡者数は、12年連続の全国ワースト1位と厳しい状況ですが、本市においては、1月から7月までの7カ月間で、死亡0件、重傷4件、軽傷106件、計110件です。事故別では、車対車が72件、自転車対車が13件、二輪車対車が11件、人対車が10件、単独が4件となっております。学区別では、高浜小学校区31件、吉浜小学校区27件、翼小学校区23件、港小学校区19件、高取小学校区10件となっております。

このような状況を踏まえ、高浜市交通安全協会、高浜市交通安全指導委員会、碧南警察署等と連携し、交通安全市民運動、ライド&ライト関所活動、高齢者交通安全講話、母親クラブ交通安全街頭啓発活動、幼稚園・保育園・幼稚園等に対し交通安全

全教室、交通死亡事故ゼロの日、早朝パトロール及び立哨活動等、継続性をもって地道に活動を重ねていくことが、交通事故の抑制、交通安全対策に繋がっていくと考えている。

問 今年6月1日より、自転車違反を厳しく取り締まる道路交通法の改正が行われたが、免許を持っていない人や子ども達への、標識教育、交通ルール等、自転車の安全な利用取組について。

答 自転車事故を防止するには、自転車利用者に対して交通ルールの徹底を図っていくことが、必要不可欠であるとの考えから、14歳以上を対象に、14項目の危険行為に対し、違反行為を繰り返すと、自転車運転者講習受講が義務付けられ、命令に従わない場合は、5万円以下の罰金が科せられる法改正が行われました。当市は、全ての小学校で、自転車安全教室を、中学校・高校では、チャレンジ自転車無事故無違反ラリー等を、高齢者には、自転車乗り方やマナー講演等、自転車の安全な利用について周知徹底に努めています。今後も、交通安全協会、交通指導委員会、碧南警察署等、関係機関と連携し、継続的、積極的に取り組んでいきます。



内藤 とし子 議員

公共施設あり方計画
推進事業について

問 公共施設あり方計画が提案され、スケジュールも示されているが、高浜小学校整備の複合化に関連して、大山公民館を取り壊した後の利用は大丈夫なのか。

答 大山公民館については機能重視で取り組むため、利用者と話し合っており、どうするか決めていきます。

問 行政によるマネジメント計画に対して、なぜそのような状況に置かれているのか。どうしてこれらの施設が、統廃合の対象とならなければならないのか。施設には、別の使い道はないのか。施設がなくなってもコミュニティが存続するためには、どうしたらよいのかなど、住民によって熟慮されるべき事柄は多いものがあり、住民に周知しなければなりません。周知はどうするのか。

答 11月から地域で5カ所説明会を行い、出前講座も希望があれば行う考えです。

問 昨年の説明会のように、5カ所で146人の参加者では少なく問題である。昼夜行って、参加しやすい体制をとるべきと考えらるが。

答 夜だけの予定です。

問 平成28年に市民センターホールを解体する予定となっているが、代わりはどうするのか。

答 高浜小学校体育館等で、代わりは行っていた。利用者には不都合もあると考える。

問 刈谷豊田総合病院高浜分院を持つてくるということであるが、中央公民館跡地に建てる要因は。また、病院を豊田会に建ててもらって、20億円補助金を出すと、今のうちに赤字補てんも出すのか。

答 現在の場所では、形がいびつで建て直しが難しい。土地を探したが、市民センターは地理的にも現在と近いので最適となった。赤字補てんは、今後はしない。

問 豊田会に移譲したときも市民の声を聞くことをしなかったが、今回も聞く考えはないのか。考えはありません。

総務建設委員会

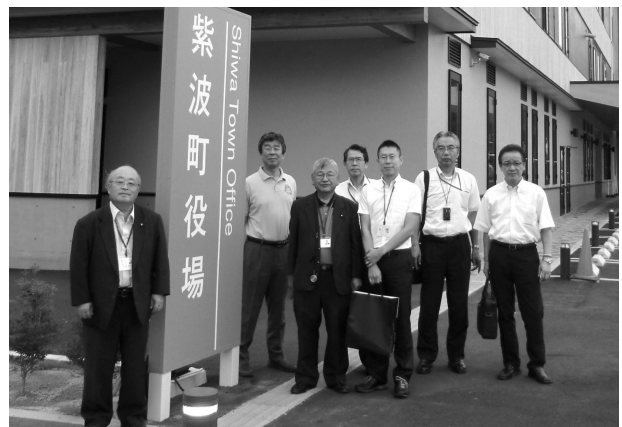
行政視察

日程 平成27年7月15日～17日

(若手県紫波町、宮城県仙台市)

●商業振興施策について(紫波町)

「オガール紫波プロジェクト」について視察をしました。その取り組みは、JR新駅の誘致と駅前開発、庁舎の老朽化による建て替え問題、図書館の新設要望等に対して、10年塩漬けとなっていた町有地を一体的に有効活用するというものでした。当時の町長と元UR職員が主導し、紫波町公民連携基本計画を策定。この計画の目的には、町民の資産である町有地を活用して、財政負担を最小限に抑えながら、公共施設整備と民間施設とを、複合的に開発することがうたわれており、その公民連携により、公共施設整備や経済、都市開発を通じたまちづくりを効果的に進め、行政と民間の役割分担や情報交換をスムーズに行い、公の良い部分、民の良い部分をしっかりと活かしたまちづくりが推進されていました。



●災害施策について(仙台市)

仙台市の「地域版避難所運営マニュアル」の作成、運営」について視察をしました。仙台市は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、甚大な被害を受け、被災後、対応に奔走した実際の経験から得られた教訓や市民アンケート等を基にまとめられたマニュアルについて、作成に至った背景から注意点に至るまで、貴重な説明を担当部署からしていただきました。「市民の総合力による防災」が今後さらに重要になるという観点から、地域の防災力を高めるために、マニュアルの作成や

訓練における協働の強化、地域ごとの避難所運営マニュアルの作成と活用、地域活動を通じたコミュニケーション等関係の構築、地域での防災訓練を充実させることなどが有効であり、また、日頃からの防災に対する個々の意識が大変重要であるとともに市民一人ひとり、地域団体、企業など、さまざまな主体と行政が連携・協働していくことが非常に大切であるとのことでした。

福祉文教委員会

行政視察

日程 平成27年7月6日～8日

(岡山県総社市・大阪府池田市・大阪市・豊中市)

●障がい者千人雇用について (総社市)

総社市は、平成20年のリーマンショックで、市内で2千人以上が職を失い、有効求人倍率も過去最低という状況下、こんな時こそ支援すべきは障がい者であるとの、市長の熱い思いから平成23年5月「障がい者千人雇用委員会」組織を設置し、12月には、基本的事項や市・企業・市民の役割等を明文化させる

「障がい者千人雇用推進条例」を制定。24年4月、最後の居住支援等を視野に入れた、ライフステージ支援「障がい者千人雇用センター」を設置。26年6月には、一般就労へ6か月以上移行経過した方に、10万円を支給する独自施策「就労移行支援金制度」の創設等、市・ハローワーク・商工会議所と共に、一人ひとり、その人に合った形での就業・生活支援等が、継続的に受けられるシステムづくりを行っている。市民、企業等に雇用状況等を報告、理解を求めた事業とのこと。

当初180名の就労が、27年6月には、865名になっていくとのことでした。

●教育のまち池田・小中一貫教育について(池田市)

池田市では、これからの変化の激しい社会を力強く生き抜き、次代を担える大人になるように、義務教育9年間を一体的に捉えた、小中連携、小中連携、施設分離型小中一貫教育の推進を、全市的に展開してきたが、本年度4月から、同じ敷地内で、9年間、ともに学び合う、施設一体型の小中一貫校が1校開校したとのこと。

学習面、生活面において一貫

性・連続性のある指導を充実させ、子どもたち一人ひとりの豊かな「学び」「育み」教育へとつながるか、評価等注視していきたいとのことでした。



●校長経営戦略予算について (大阪市)

大阪市では、保護者及び地域住民と連携、協力を図り、子どもの最善の利益を実現させるため、学力・体力・道徳・体験学習等の学校運営に関し、校長がリーダーシップを発揮し、特色ある学校づくりを実施する学校に対し、基本予算20万円とは別に、加算予算500万円を上限

に、配布される事業であるとのこと。

平成25年度では、459校中、約79%の申請に対し、75校約21%の加算対象校があり、平均加算配布額は、約300万円とのこと。今年度は約96%の申請があり、50%の加算対象校を目標としているとのことでした。

●生活困窮者自立支援制度について(豊中市)

豊中市では、平成25年度から、就労支援施策の新たな展開として、複雑な就労阻害要因を有する相談者、高齢者、若者、単身女性、母子家庭の母、障がい者など、暮らしが崩れかけた層に対する、アウトリーチ対策として「くらし再建パーソナルサポートセンター」を開設、経済的困窮者だけでなく、社会的孤立等の困窮状態への対応等、これまで以上に、一人ひとりに、それぞれの状況に応じた、支援を行い、地域住民総出で支え合う、地域社会ぐるみの「総合相談」仕組みづくり等、ハザマを埋める支援体制の構築に取り組んでいる事業とのこと。

支援体制や運営体制は、それぞれの地域の実情に応じた制度にしていかなければ、十分に機能しないとのことでした。

議 会 報 告 会 の 開 催

日 時：平成27年11月14日(土) 午後2時～4時まで
場 所：高浜エコハウス 2階 会議室

6月定例会と9月定例会で審議・審査された内容についてご報告します。参加自由ですので、皆さんお越しください。

本会議(定例会・臨時会)放送の視聴

- インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生(ライブ)中継や録画中継をご覧になることができます。
- なお、録画中継は、生(ライブ)放送後、おおむね2週間以内に配信を予定しています。
- 議会放送関係の注意事項について、高浜市公式ホームページ「高浜市議会映像ネット配信」内に掲載していますので、必ずご覧ください。

■PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

■スマートフォン向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>

■スマートフォン用QRコード



ご注意ください

※視聴は無料です。ただし、通信料等は視聴者のご負担となります。
※動画配信となりますので、視聴者の通信料等の契約内容により、高額となる場合があります。
※視聴に際し今一度、視聴環境にかかる契約内容を、よくご確認・納得のうえ、ご視聴ください。

12月定例会の日程 (午前10時～)

月 日	曜	会議日程	付 議 事 項
11月26日	木	本会議第1日目	開会、市長招集挨拶、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案上程、説明
12月 2日	水	本会議第2日目	一般質問
12月 3日	木	本会議第3日目	一般質問
12月 7日	月	本会議第4日目	総括質疑、議案委員会付託
12月 9日	水	総務建設委員会	付託案件審査
12月10日	木	福祉文教委員会	付託案件審査
12月11日	金	公共施設あり方検討特別委員会	
12月18日	金	本会議第5日目	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

(都合により、日程を変更する場合があります。)

12月定例会を傍聴してみませんか

定例会は、3・6・9・12月の年4回開催されます。

一般質問等で、市政全般にわたって論議が展開されます。

ぜひ一度、傍聴にお越しください。

表紙の説明

9月6日に行われた防災訓練の一場面です。火元に見立てたボールに、バケツリレーで運んだ水をかけています。今年から、中学生も積極的に参加していただきました。その真剣な取組みに、訓練そのものも大いに盛り上がりました。子供防災リーダーの制度もうまく機能し出したようです。「備えあれば憂いなし」日頃から災害に備えましょう。(小池町 山田公園にて)

編集後記

9月6日に平成27年度高浜市総合防災訓練が雨の中、各町内での一時訓練のタオル掛け(安否確認)から始まり、二次訓練として各まちづくり協議会主催で各々の訓練が行われました。また、9月9日から11日にかけて、関東・東北豪雨では茨城県・栃木県・宮城県などで記録的豪雨となり、各地で河川が氾濫するなどして、大きな被害が出ました。災害はいつ起こるかわかりません。災害時の心構えを日頃から持つておきましょう。